

# 通称は「神崎小中学校」



神崎中学校区

統合校運営委員会NEWS

第3号

二月九日（木）の午後七時から、こうざき校区公民館集会所において、第三回統合校運営委員会を開催しました。

会議では、まず、第三回統合校運営委員会までの経過を事務局から報告したあと、小中一貫教育校の具体的な内容について、資料「各期別の特徴的な取組等についての概要（案）」を基に説明があり協議を進めました。（資料の一部は四面に掲載しています。）

小中一貫教育校の具体的な内容については、資料を原案とすることや、保護者を対象とした説明会については、PTA総会時を利用して実施することなどが確認されました。その後、昨年十二月に実施したアンケートの集約結果等を基に、小中一貫教育校の「通称」「校歌」「校章」の改正に係る検討、「制服」の導入に係る検討、PTA組織の改編に係る検討、通学環境の整備について協議されました。（アンケート

集約結果については二面に掲載しています。）

通称については、アンケートでの回答が多かった「こうざき小中学校」「神崎小中学校」「幸崎小中学校」を候補として絞り議論を重ねましたが、最終的に委員の多数決により「神崎小中学校」とすることが確認されました。（会議での意見は三面に記載しています。）また校歌については、現在の校歌を引き続き使用する、校章については、小中学校としての校章を児童・生徒の案をもとに新たに制作することなどが確認されました。

制服については、回答の多かった現在の神崎中学校のデザインを引き続き採用することや、現行どおり、七年生から導入することが確認されました。

## 第4回統合校 運営委員会は

平成29年5月30日  
(火)に開催します。  
時間：19:00～20:30  
場所：こうざき校区  
公民館

統合校運営委員会の  
会議は傍聴できます

## 通称、制服についての アンケート集約結果



アンケートのご協力  
ありがとうございました。

### ●通称について、26通ご回答いただきました。

#### ○「こうざき小中学校」：8通

理由・「神崎」よりも「こうざき」の方が低学年にわかりやすい。

- ・名前を聞いてどこにある学校かわかる名前がよいと思う。
- ・ひらがなは他にないので、目立つし、わかりやすい。
- ・部活動で九州大会や県大会に出るようになり、名前が知られるようになったのに、全く違う名前ではもったいない。

#### ○「神崎小中学校」：7通

理由・地区名の方が覚えてもらえるから。

- ・わかりやすいのが一番だから。
- ・伝統のある名前、消えてほしくない。
- ・一番馴染みのある名だから。
- ・そのままの方が、どこの地域の人が聞いてもわかりやすいから。 など

#### ○「幸崎小中学校」：5通

理由・神崎だと神崎（かんざき）小学校と間違える。幸崎だと駅名と同じなので認識されやすい。

- ・こうざき小中学校だと中学校にひらがなはそぐわなく感じるの、駅名と同じがよい。
- ・子どもたちにとっての幸せがある場所であってほしい。
- ・こうざきという名のひびきは残したい。これから先「幸せ」があるといいなどの願い。
- ・「幸せの崎」で幸崎。
- ・駅と同じ名前の方がわかりやすい。

#### ○「こう崎小中学校」：2通

#### ○「もみのき小中学校」：1通

#### ○「海星神崎小中学校」：1通

#### ○「神（こう）小中学校」：1通

#### ○「神志馬木（こうしめき）小中学校」、「神志木（かみしき）小中学校」：1通

### ●制服について、96通ご回答いただきました。

#### （1）制服について、どちらに賛成ですか。

##### ①現在の神崎中学校のデザインを引き続き採用する。

60通（62.5%）

理由・兄弟姉妹がいる場合に経済的な負担が大きい。

- ・今までのお下がりが使える。
- ・男女ともに中学生らしくて良いと思う。
- ・今の制服がかわいいから。
- ・別に変える必要がないから。

##### ②新しいデザインを採用する。34通（35.4%）

理由・自宅で洗濯できる素材、デザインがよい。上着が簡単に着脱でき、洗える方がよい。

- ・導入するのであれば将来的に考えて新しくすべき。
- ・時代に合ってなく古い。一新してブレザーなどに変更した方がよい。
- ・地域の方など、目に見えて変わった事がわかるように、新しいデザインにすべき。 など

##### ○その他。2通（2%）

理由・どちらでもよい。

#### （2）制服について、どの期から導入するのがよいと思いますか。

##### ①前期（1～4年生）から・・・7通（7.3%）

理由・私服がいない分経済的。

- ・1～4年生、5～9年生でそろえたい。

##### ②中期（5～7年生）から・・・20通（20.8%）

理由・中学校で勉強する学年は同じ方がよいと思うから。

- ・同じ校舎内で私服と制服がいるのは不自然。
- ・5年生ぐらいから服装にうるさくなるので制服の方が経済的になる。
- ・低学年は汚すため制服はもったいない。 など

##### ③現行どおり（7年生）から・・・65通（67.7%）

理由・経済的にも負担になるので現在のままでよい。

- ・小中一貫教育になっても小学生と中学生の区別はした方がよいと思う。
- ・小学生のうち服を汚すことを気にせず伸び伸びと遊んでほしいから。

##### ○その他・・・4通（4.2%）

### 【統合に伴う環境整備】

第2号で掲載しました小学校プールの改築工事と小学校グラウンド内の屋根付き廊下の設置事業が完了しましたのでお知らせします。



### 【通学環境の整備】

小学校の通学路を旧軽便鉄道の歩道へ変更することが確認されました。

それに伴い、中学校前の横断歩道を旧軽便鉄道の歩道に移動するよう取組を進めていきます。



（横断歩道設置予定場所）

## 第3回統合校運営委員会における主な意見・質問

(発言内容は、紙面の都合で要旨のみとしています。ご了承ください。)

○ 意見・質問  
● 回答

### < 小中一貫教育校の具体的な内容について >

- 保護者の方は、小中一貫教育については納得していると思うが、現在、1～6年生が同じ小学校の校舎で生活している中、小中一貫教育校となった後は、1～4年生が小学校の校舎に、5年生からは中学校の校舎に入ることとなる。5年生から校舎が分かれることについては疑問に思っている方も多と思うので、この点について説明してほしい。
- 5年生から中学校の校舎に移したいというのは、一部教科担任制を実施する際、例えば、中学校の先生が小学校の授業を行うときに、今のままであれば、中学校の授業終了後、直ちに小学校の校舎に移動して授業を行い、授業終了後には再度、中学校舎に移動しなければならない状況が発生するなど、校舎間の移動に伴う時間がかかるということから、5年生から中学校舎に移った環境で実施するほうが効率的であるということが理由の一つである。  
また、小中一貫教育の目的として中1ギャップの軽減を図るということがある。中1ギャップの一つとして、小学校から中学校に上がったときに不登校やいじめなど生徒指導上の諸問題が3倍程度増えることが全国的にも挙げられているが、その要因としては、子どもたちの身体的成長の早熟化や近年の社会情勢の変化等に伴うインターネット等による情報モラルの問題などが指摘されており、小学校から中学校に上がるときの段差が昔に比べ大きくなっていることなどが考えられる。こうしたことから、義務教育9年間の間に適度に節目を設けながら小さな段差で接続していきたい。  
5、6年生にも中学生とともに中学校舎に入って、ある程度中学校的なやり方に触れながら慣れてもらい、中期の一員になったという意識の芽生えなどにより、心身の発達を促すことは大変プラスなことであると考えている。

### < 通称について >

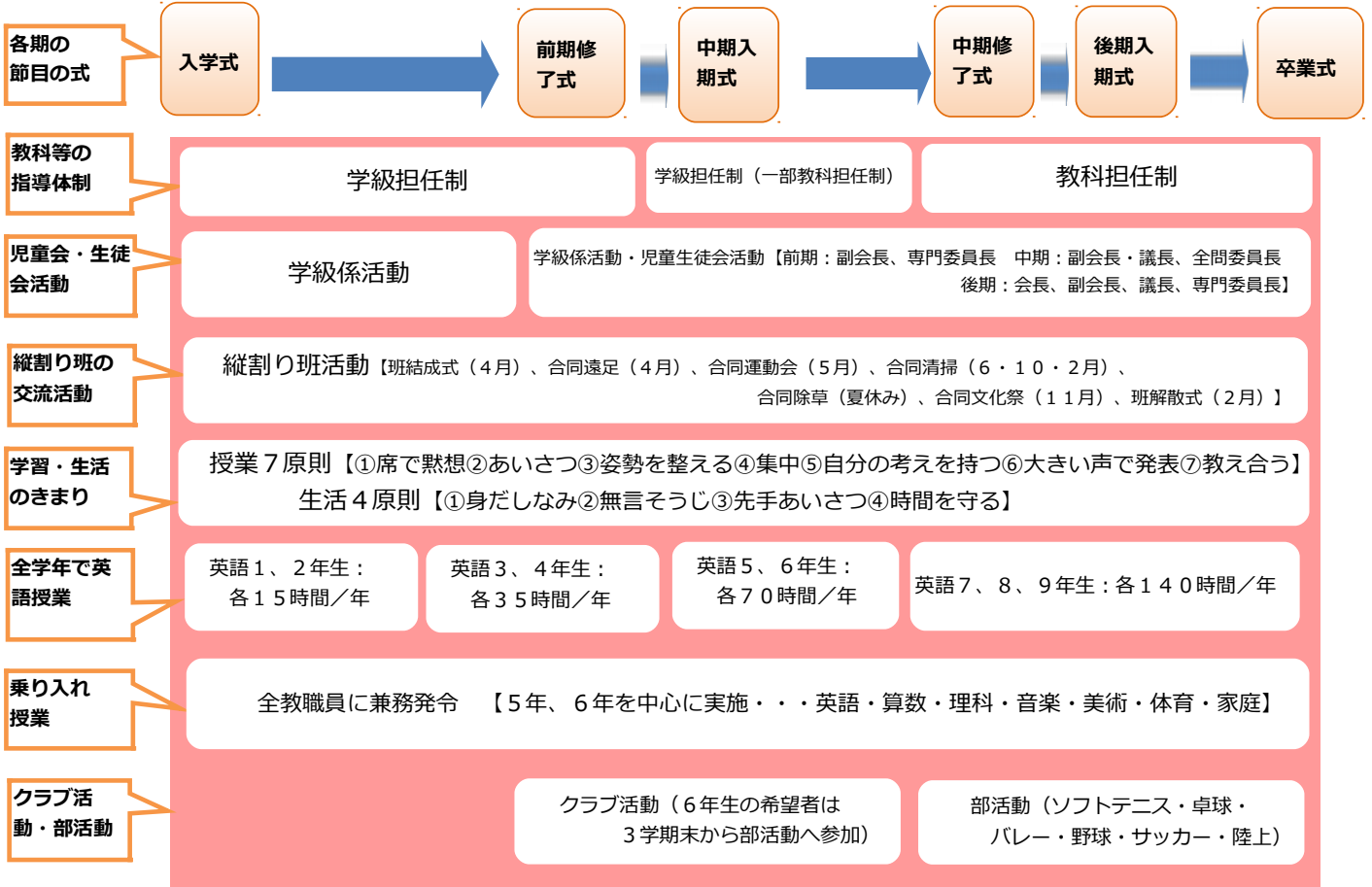
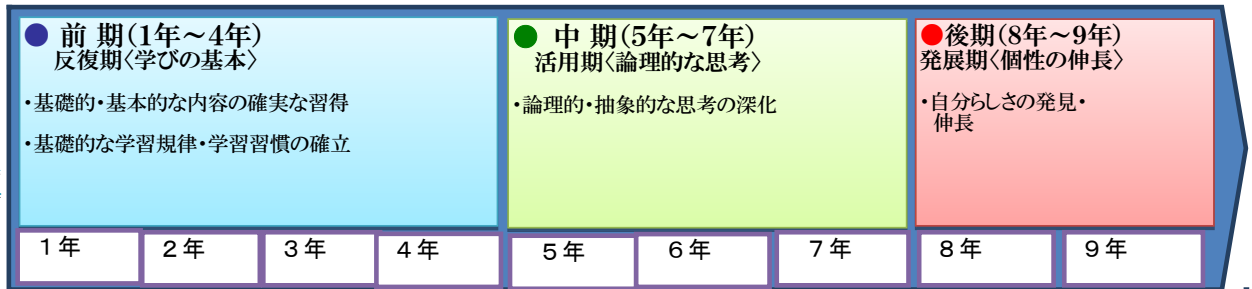
- 持ち帰って3つの候補の中から児童生徒、担任、保護者に選ばせるということではできないのか。
- 子どもたちに選んでもらう方法や、この場で決めるという方法はあると思うが、教育委員会が決めなければならないという事項ではない。
- 公的な証明という視点で見ると、通称を用いず正式名称を用いることになる。通称が正式名称と大きく違うものになれば、子どもたちが将来的に混乱するのではないか。
- 正式名称は小学校、中学校でそれぞれあるが、部活動で大会に出場する場合、新聞などで名称が出るのは漢字の「神崎中学校」なのか。
- 新聞などは恐らく通称で出ると思う。今、賀来小中学校も通称で出ている。
- 「幸崎」というのが当て字というのを今知ったぐらいで、他の方がそれを聞いたらどう思うかということもあるし、正式名称と通称がそれぞればらばらだと混乱すると思う。中学校で卒業するということもあるので、漢字表記の「神崎小中学校」でよいのではないか。
- アンケートであれば再度、地域の方にも聞く必要があると思う。実際に募集した結果、神崎地区は約2千戸あると思うが、そこから26しか意見が出なかった。貴重といえば貴重、逆に言えば通称について、あまり関心がないとも言えなくはない。また戻ってアンケートをとったり、教育委員会に決めてもらうよりは、この場で、ひらがな表記か漢字表記かのどちらかを選ぶほうがよいのではないか。
- この場で決定するという意見が多いが、この場で決定するというところでよいか。
- 賛成であるが、挙手の対象者は出席者全員か。
- 事務局は除く委員11名である。(結果：賛成多数で「神崎小中学校」とする。)

### 第3回委員会で確認した事項

1. 小中一貫教育の運営に係る検討
  - 小中一貫教育校の具体的な内容については資料を原案とする。(原案の一部を4ページに掲載)
  - 保護者を対象とした説明会については、PTA総会時を利用して実施すること。
  - 視察や講演会については実施を見送り、その代わりに1学期末、2学期末のPTA等を利用して保護者に説明の機会を設ける。
2. 通称、校歌、校章の改正に係る検討
  - 通称については漢字表記の「神崎小中学校」に決定する。
  - 校歌については、現在の校歌を引き続き使用する。
  - 校章については、小中学校としての校章を新たに制作する。その際、児童生徒の案を参考とする。
3. 制服の導入に係る検討
  - 制服のデザインは、現在のデザインを引き続き採用する。
  - 制服は現行どおり、7年生から導入する。
4. PTA組織の改編に係る検討
  - 29年度の新しい役員も含めて検討する。
5. 通学環境の整備
  - 小学校の通学路を旧軽便鉄道の歩道へ変更する。
  - 中学校前の横断歩道を旧軽便鉄道の所に移動する。
6. その他
  - 第4回統合校運営委員会は、5月30日(火) 19時よりこうぎき校区公民館で開催する。
  - 所管する課の変更については、今後、学校施設課が担当する。

# 各期別の特徴的な取組等についての概要（案） H29.1.31(火)作成

義務教育9年間を前期（4年）・中期（3年）・後期（2年）に区切り、一貫した教育カリキュラムを編成・実施



（※注：併設型小中一貫教育校への移行措置として、平成29年度の小学校卒業式と平成30年度の中学校入学式は実施する。）

〈編集後記〉

統合校運営委員会の様子を広くお知らせするため、統合校運営委員会NEWSを発刊するとともに、市のホームページにおいても会議の要旨などを公開しています。

積極的な情報発信に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いたします。



神崎中学校区統合校運営委員会NEWS「第3号」

発行：平成29年3月

発行者：神崎中学校区統合校運営委員会

事務局：大分市教育委員会教育企画課

連絡先：住所 大分市荷揚町2番31号

電話 097-537-5903（直通）

E-mail: kyoikukikaku@city.oita.oita.jp

